

令和6年度 単位PTA活動調査報告書

アフターコロナ時代の PTA活動

令和7年3月5日

静岡県公立高等学校PTA連合会

はじめに

日ごろは静岡県公立高等学校PTA連合会の事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。今回令和2年度以来4年ぶりの本会の調査へのご協力、重ねてありがとうございます。

令和2年度から令和5年度の第5類への移行まで、新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るい、学校教育においては、三密を避ける目的から、休業、授業形態・学校行事の見直し、部活動の練習や大会の中止など、私たちが長年培ってきた教育スタイルの変更を余儀なくされました。

同時にPTA活動においても、単位PTAや県・東海・全国を問わず、各種理事会や総会、大会の中止や書面開催、活動内容や組織規模の縮小など、多大な影響を受けました。令和6年度に入ってようやく以前の活動に復しつつありますが、深刻な少子化の進行、それに伴う公立学校募集定員の減少とPTA会員数の減少、保護者や教職員の多忙化と働き方改革など、PTAの運営や活動をどのようにしていくべきか、組織の在り方や活動内容の検討が大きな課題となっているといえます。

私たちは連合会には、三つの求められる役割があると考えています。まずは、単位PTAの活動状況や各種情報を集約し、適宜情報提供をしながら活動を支援すること。本調査もその一つです。次に、会員数6万人を超えるスケールメリット(規模拡大効果)を活かして、単位PTAだけでは入手困難な情報を提供していくこと。最後に、県教育行政だけでなく、東海地区、全国と大きな組織とつながることで、さらに大きなスケールメリットを生み、我が国の学校教育全体にコミットしていくことです。今回の調査を活かし、今後の各校PTA活動の参考にしていただければ幸いです。

<目次>

| | |
|--------------------------------------|----|
| はじめに | |
| I 調査概要 | 1 |
| II 高等学校(全日制・定時制) | |
| 1 PTA総会の実施方法 | 3 |
| 2 PTA総会への出席率 | 3 |
| 3 PTAの加入状況 | 4 |
| 4 PTAが実施・参加・協力をしている学校行事 | 4 |
| 5 特色あるPTA活動 | 5 |
| 6 コロナ禍でのPTA活動の変化 | 6 |
| 7 今後のPTA活動に係る検討(6で「コロナ禍でも変化なし」の学校のみ) | 7 |
| 8 県高P連の会報の活用状況 | 7 |
| 9 今後の会報発行の形態 | 8 |
| 10 現在PTAが抱えている問題 | 8 |
| III 特別支援学校 | |
| 1 PTA総会の実施方法 | 13 |
| 2 PTA総会への出席率 | 13 |
| 3 PTAの加入状況 | 14 |
| 4 PTAが実施・参加・協力をしている学校行事 | 14 |
| 5 特色あるPTAの加入状況 | 14 |
| 6 コロナ禍でのPTA活動の変化 | 15 |
| 7 今後のPTA活動に係る検討(6で「コロナ禍でも変化なし」の学校のみ) | 16 |
| 8 県高P連の会報の活用状況 | 16 |
| 9 今後の会報発行の形態 | 17 |
| 10 現在PTAが抱えている問題 | 18 |
| あとがき | |
| [資料]単位PTA活動調査 質問事項 | 21 |

I 調査概要

1 目的

- (1) 各単位 P T A の活動状況及び課題を共有し、各単位 P T A の今後の活動に資する。
 - ・活動の種類・実施状況、特色ある活動事例の共有
 - ・各校課題の抽出、共有
- (2) 今後の県高 P 連の活動に資する。
 - ・アフターコロナにおける単位 P T A の加入状況、会費徴収状況、活動実態を把握する。
 - ・単位 P T A への依頼内容や、各種回答(提出)期限の設定に反映させる。
 - ・各種表彰校、研究協議発表校の候補選定に係る基礎データとして活用する。
 - ・県高 P 連会報に対する単位 P T A のニーズを把握する。

2 実施時期 令和 6 年 9～12 月 [参考] 前回調査：令和 2 年 7～8 月(調査対象は元年度状況)

3 回答数 公立高等学校：全日制(分校を含み中等部 P T A は含まない) 82 校
定時制(P T A を持つ学校のみ) 7 校
県立特別支援学校：本校のみ 25 校 ※計 114 校 回答率 83.8%
(P T A 未組織校は回答不要とした)

4 質問事項 ※詳細は巻末資料を参照

- (1) P T A 総会の開催方法、出席率★について
- (2) P T A への加入状況★、未加入者の増減について
- (3) P T A が実施・参加・協力をしている学校行事について★
- (4) 特色ある P T A 活動について(自由記述)★
- (5) コロナ前後の P T A 活動の変化について
- (6) 県高 P 連会報{年 2 回}の発行の在り方について
- (7) 課題(自由記述)★ ★令和 2 年度調査と共通する質問

5 方法

- (1) 各単位 P T A (学校)に対して、アンケート調査への協力を依頼する。
 - ※ Google Form を使用する。
 - ※ 学校ごとの回答状況を把握し、できる限りの協力を呼びかける。
- (2) 事務局にて入力、集計し、分析を含めてレポートにまとめて全加盟校に送信するとともに、本会のホームページに掲載する。また、理事会や総会にて適宜情報提供する。

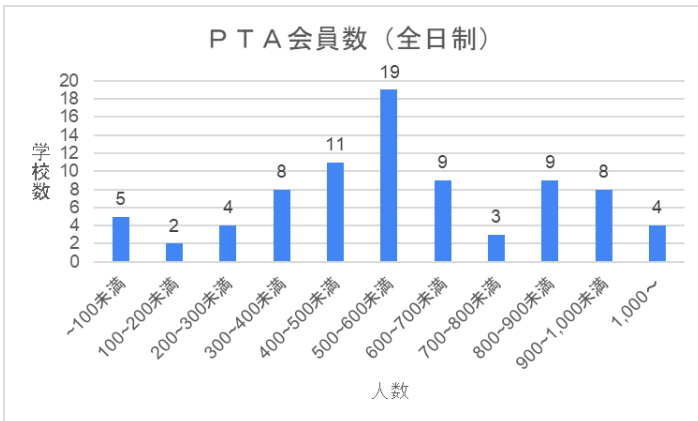
6 調査と結果報告の手順

| | |
|--------------------|-------------------------|
| 令和 6 年 9 月下旬 | 全単 P に依頼メールを送信 |
| 令和 6 年 11 月下旬 | {未回答校に再度依頼メールを再送} |
| 令和 6 年 12 月 2 日(月) | 回答入力〆切日 |
| | データ集計、分析、調査報告書作成 |
| 令和 7 年 1 月 31 日(金) | 第 3 回本部役員会で調査結果報告 |
| 令和 7 年 2 月 7 日(金) | 第 2 回理事会で調査結果報告 |
| 令和 7 年 3 月上旬 | 県高 P 連ホームページに調査結果報告をアップ |

7 回答に先立つ基礎データ

(1) P T A会員数の状況

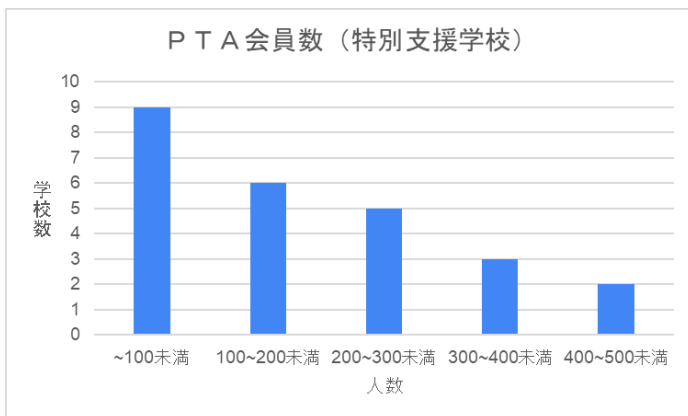
【全日制】



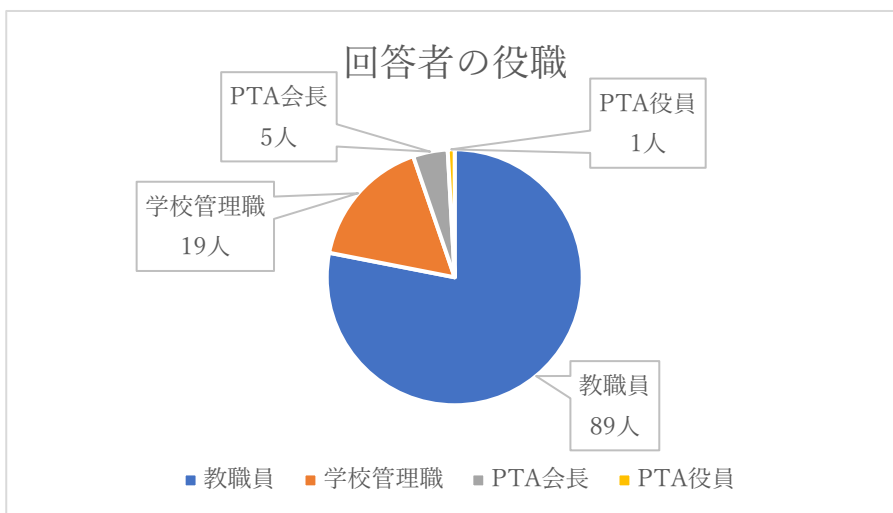
【定時制】

| | |
|--------------------|-----|
| 静岡県立三島長陵高等学校 | 414 |
| 静岡県立科学技術高等学校（定時制） | 71 |
| 静岡県立静岡高等学校（定時制） | 33 |
| 静岡県立ふじのくに国際高等学校 | 89 |
| 静岡県立浜松大平台高等学校（定時制） | 411 |
| 静岡県立新居高等学校（定時制） | 53 |
| 静岡県立静岡中央高等学校 | 30 |

【特別支援学校】



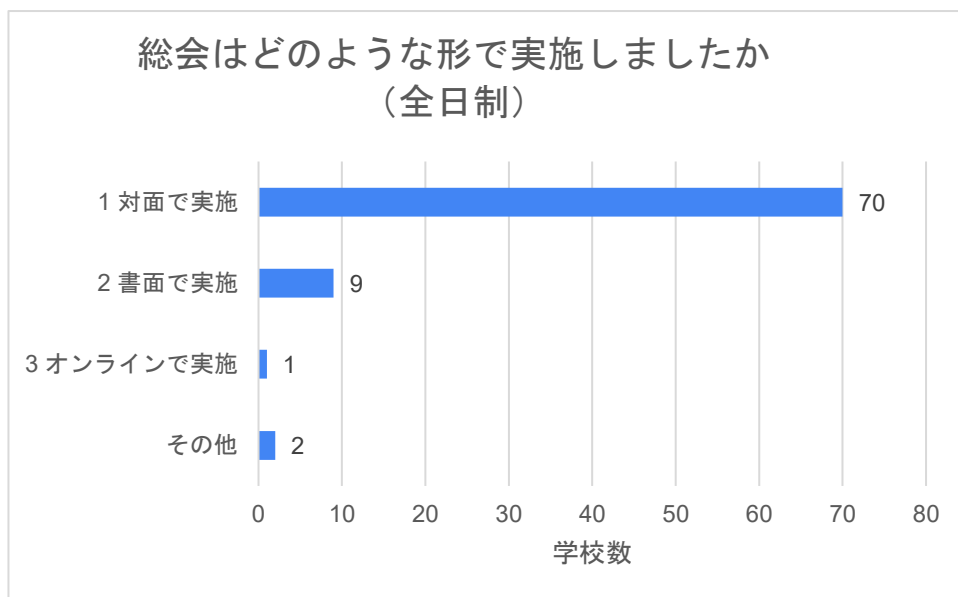
(2) 調査回答者の役職



回答者の約8割を教職員（おそらくPTA業務担当者）が占めている。複数年にわたりPTA業務を担当している方も多いため、従前からのPTAの経過や課題等をよく把握し、俯瞰的な立場から状況を的確に捉える回答が多いと推測されるが、反面教職員の視点から見たPTAというバイアスがかかっている可能性があることには注意したい。また、各校のPTA役員から話を聞くと、総会や各種行事の手配、役員決め、予算決算に係る業務など、担当教職員に全面的に依拠していて申し訳ないと言った声もよく聞かれ、教職員からの過大な業務負担を訴える声もよく耳にする。

II 高等学校 回答数：全日 82 校、定時 7 校 計 89 校

1 P T A 総会の実施方法



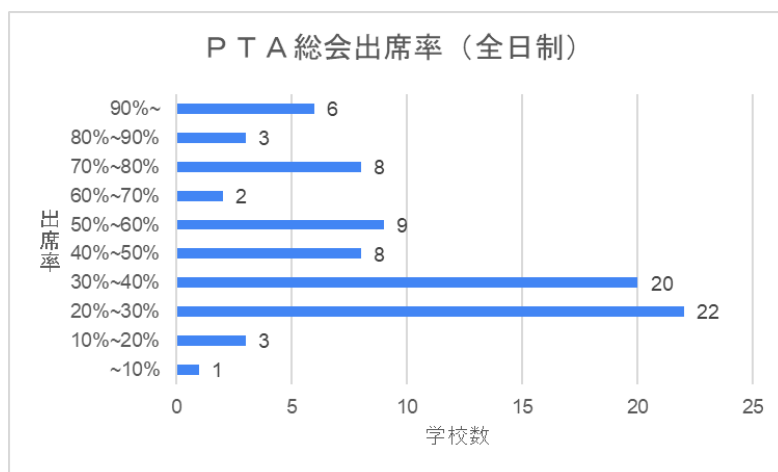
※その他 Classi での資料配信とアンケート機能での決議 Form を用いた書面開催

定時制は、5 校が対面実施、2 校が書面実施であった。

総会は、コロナ禍を経ても依然として対面が主流であることが分かる。オンラインで実施した学校の使用アプリは Zoom であった。

2 P T A 総会への出席率

令和 6 年度 P T A 総会への会員 (保護者) の参加率 平均 43.5% (全日・定時)



令和 2 年度調査の出席率は 38.6%であったため、5%程度向上している。コロナ禍を経て久しぶりの対面開催であること、書面・ネット利用が少しずつ進んでいることなどが背景にあると考えられる(70%以上参加の 17 校では、対面のみで実施は 4 校で、他は書面、Classi、Zoom などを利用、併用している)。出席率に学校規模はあまり影響が見られなかったが、総会の参加率低下に危機感を持ち、在り方の検討が必要という意見は多い(「質問 10 現在 P T A が抱えている問題」を参照)。

なお、定時制課程は回答数が少ないため、各校のデータを示す(すべて%)。県立ふじのくに国際高等学校の100%は、令和6年度開校であることと書類開催であるためと思われる。

| | |
|--------------------|-------|
| 静岡県立三島長陵高等学校 | 0 |
| 静岡県立科学技術高等学校(定時制) | 20 |
| 静岡県立静岡高等学校(定時制) | 42.4 |
| 静岡県立ふじのくに国際高等学校 | 100 |
| 静岡県立浜松大平台高等学校(定時制) | 58.15 |
| 静岡県立新居高等学校(定時制) | 0 |
| 静岡県立静岡中央高等学校 | 30 |

3 P T Aの加入状況

| | | |
|--------|-----|---------------|
| 100%加入 | 70校 | |
| 99%加入 | 16校 | |
| 98%加入 | 1校 | |
| 97%加入 | 1校 | |
| 80%加入 | 1校 | 計89校(全日制・定時制) |

大多数の学校が、ほぼ100%の加入状況となっている。一方で、「質問10 現在P T Aが抱えている問題」では、少子化に伴う会員数の減少と併せて、加入に難色を示す保護者が増えていることに危機感を持つ意見が多く、未加入者への説得など教職員の働きかけにより高加入率を維持していることが推測される。ちなみに、令和2年度調査では約3人に1人の学校P T A担当者が、入学時に未加入を申し出た保護者に対応した経験を持っている。さらに、その中で十分説明したにもかかわらず加入の同意を得られなかった経験を持つ学校P T A担当者も14人いた。すでに小・中学校でも未加入については、大きな問題となっており、その延長線上に高校のP T A加入もあると思われる。

4 P T Aが実施・参加・協力をしている学校行事

【全日制】

| | |
|-------------|----------------------------|
| (80/82、98%) | 01 式典(入学式、卒業式等)出席 |
| (04/82、5%) | 02 式典(入学式、卒業式等)準備、片付け |
| (68/82、83%) | 03 文化祭 |
| (50/82、61%) | 04 体育祭 |
| (10/82、12%) | 05 文化的行事(合唱コンクール、百人一首大会など) |
| (35/82、43%) | 06 体育行事(マラソン大会、球技会など) |
| (25/82、30%) | 07 環境整備(清掃活動など) |
| (50/82、61%) | 08 交通安全(街頭指導など) |
| (25/82、30%) | 09 生活安全(巡回や補導など) |
| (23/82、28%) | 10 進路指導(面接練習や講演など) |
| (03/82、4%) | 11 図書指導(貸出や整理など) |

その他 駐車場支援、校内安全点検、P T A新聞・会報発行、外部模擬試験監督、学校公開日の受付・駐車場などの手伝い、学年ごとの保護者会、進路見学会、オープンスクール(支援)(受付)、学校保健委員会出席、弁論大会審査員、学校講演会役員、学校評議員、学習活動、登校時のあいさつ運動、P T A主催の講演会

【定時制】

- (7/7、100%) 01 式典(入学式、卒業式等)出席
- (1/7、14%) 02 式典(入学式、卒業式等)準備、片付け
- (4/7、57%) 03 文化祭
- (2/7、29%) 04 体育祭
- (0/7、0%) 05 文化的行事(合唱コンクール、百人一首大会など)
- (1/7、14%) 06 体育行事(マラソン大会、球技会など)
- (2/7、29%) 07 環境整備(清掃活動など)
- (1/7、14%) 08 交通安全(街頭指導など)
- (3/7、43%) 09 生活安全(巡回や補導など)
- (2/7、29%) 10 進路指導(面接練習や講演など)
- (1/7、14%) 11 図書指導(貸出や整理など)
- (2/7、29%) その他 ハートフルコンサート、地区懇談会

5 特色あるPTA活動

【全日制】※半角数字は回答数

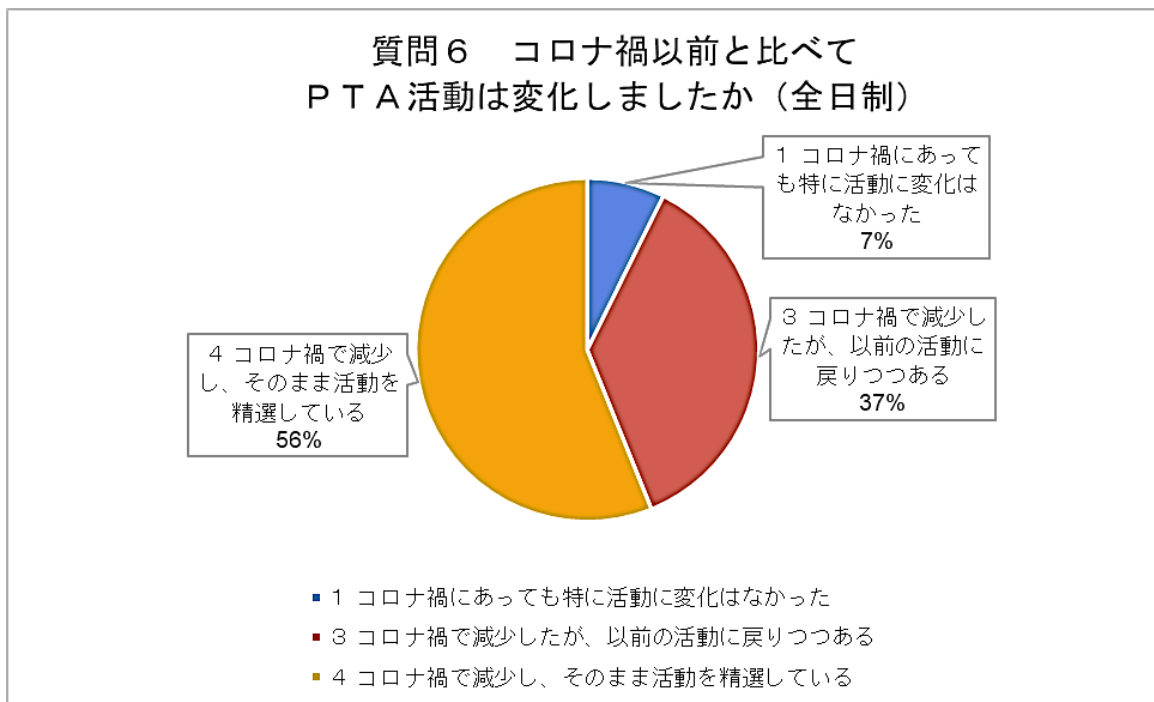
| 区 分 | 内 容 |
|---------|--|
| 学習活動・授業 | 経費支援…補講、オープンスクール受付、自習室の休日運営 |
| 文化祭 | 校内巡視 2、バス運行、キッチンカー手配、バザー4 (収益金で大型扇風機等購入し生徒還元)、模擬店 9、販売(法多山団子)、催事協力 |
| 環境整備 | 校内清掃・整備 4、草刈り 2、緑化作業、校舎周辺清掃 2、花植え、トイレ清掃、地域清掃 |
| 交通安全 | 街頭指導 2、登校指導、挨拶運動、交通安全指導 2、夜間巡視、交通安全標語選考 |
| 進路指導 | 面接指導 2、大学見学 3、進路講演会 2、進路相談会、職業講座の企画・実施、模試監督・監督補助、PTA職業講話 |
| 体育的行事 | 交通整理・誘導、走路監察、炊き出し(豚汁)、食品配布、給水・飲み物・スポーツ飲料の配布 3 |
| 文化的行事 | サンバパレードに参加生徒の警護 |
| その他 | 親睦事業(球技大会)、PTA研修旅行 5、朝の挨拶運動、袋商ショップの協力、卒業生の保護者との座談会、保健関係講演参加、行事の広報活動、制服のリサイクル、スクールバスの集金・経費節約、PTA新聞・広報紙の作成 3、PTAと後援会と生徒会の懇談会、地区指導者研修会の運営、PTA主催の研修会(料理、ヨガ、フラワーアレンジメント、地元散策)、PTAインスタグラム、学校行事の補助、PTA広報誌(Cラーニング)、HR講話、弁当販売、生徒の通学交通手段の維持(退任PTA会長達が後援会・学校と協働して実施)、英国姉妹校の生徒受け入れ・文化交流、広報活動の成果を冊子にまとめる、中高一貫校のため中等部保護者との協働 |

【定時制】

- 静岡県立三島長陵高等学校 文化祭への参加、ガーデンシティみしま推進委員会
- 静岡県立浜松大平台高等学校(定時制) 保護者懇談会
- 静岡県立静岡中央高等学校 文化祭と地区懇談会を特に力を入れています

6 コロナ禍でのPTA活動の変化

【全日制】



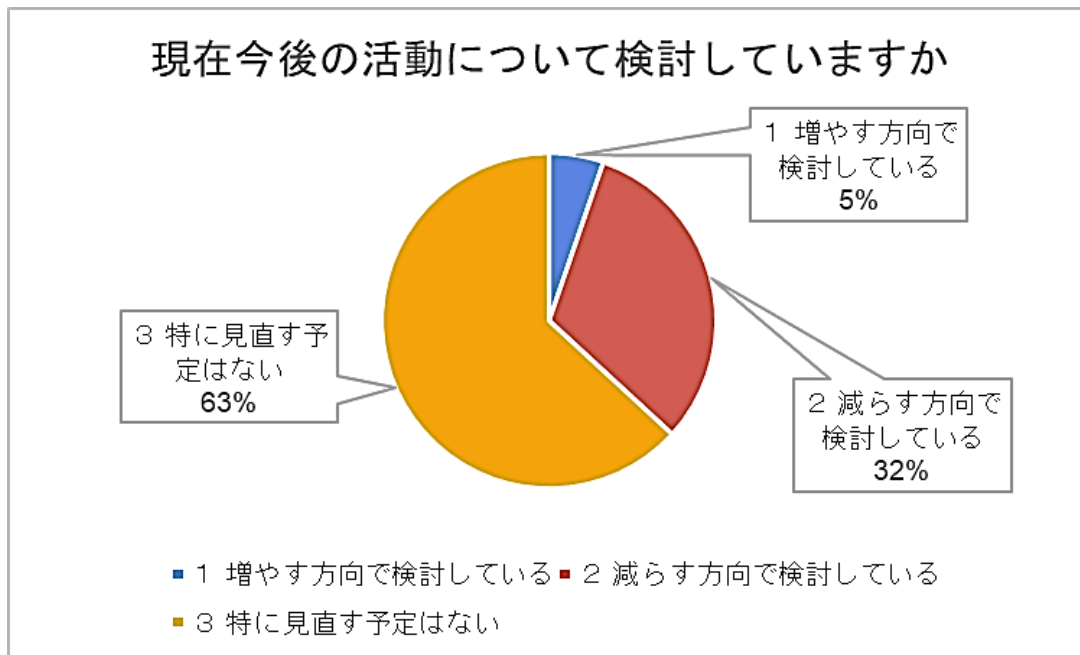
●具体的に精選した活動 ※半角数字は回答数

学科別・学年別懇談会の縮小、総会・役員会・講演会等の日程を同一日開催2、地区数・地区会の縮小・廃止7、支部会の廃止、役員数の縮小2、文化祭の参加3、祭典巡視4、PTAバザーの出店中止・縮小5、理事会・役員会の回数、書面開催の導入6、役員研修・研修旅行2、会議の縮小2、校内マラソン大会の監察、マラソン大会・クロスカントリー大会の豚汁提供2、大学見学研修、交通安全啓発活動、清掃・整備活動4、委員会縮小・統合・廃止5、役員の選出方法の見直し、進路指導活動のサポート、総会の書面開催3、式典参列者等行事参加者の精選4、催事等の縮小、PTA懇親会等の精選2、役員会、評議員会を書面開催に変更、保護者集会の司会・受付を学校が行うことにした、総会報告会の廃止、役員会のSNS活用、浜松地区高P連への参加（人数制限）、進路講演会の縮小、学年保護者集会を動画配信に変更、総会の受付業務廃止

【定時制】

| | |
|--------------------|-------------------------|
| 静岡県立三島長陵高等学校 | コロナ禍で減少したが、以前の活動に戻りつつある |
| 静岡県立科学技術高等学校 | コロナ禍にあっても特に活動に変化はなかった |
| 静岡県立静岡高等学校（定時制） | コロナ禍にあっても特に活動に変化はなかった |
| 静岡県立浜松大平台高等学校（定時制） | コロナ禍で減少したが、以前の活動に戻りつつある |
| 静岡県立新居高等学校（定時制） | もともと活動がないため変化はない |
| 静岡県立静岡中央高等学校 | コロナ禍で減少したが、以前の活動に戻りつつある |

7 今後のPTA活動に係る検討(6で「コロナ禍でも変化なし」の学校のみ)
【全日制】



【定時制】

| | |
|----------------|---|
| 1 増やす方向で検討している | 2 |
| 2 減らす方向で検討している | 1 |
| 3 特に見直す予定はない | 4 |

8 県高P連の会報の活用状況

【全日制】

- (08/82、10%) 1 すべての会員に配布している
 (12/82、15%) 2 一部の会員に配布している
 (22/82、27%) 3 すべての役員に配布している
 (37/82、45%) 4 一部の役員に配布している

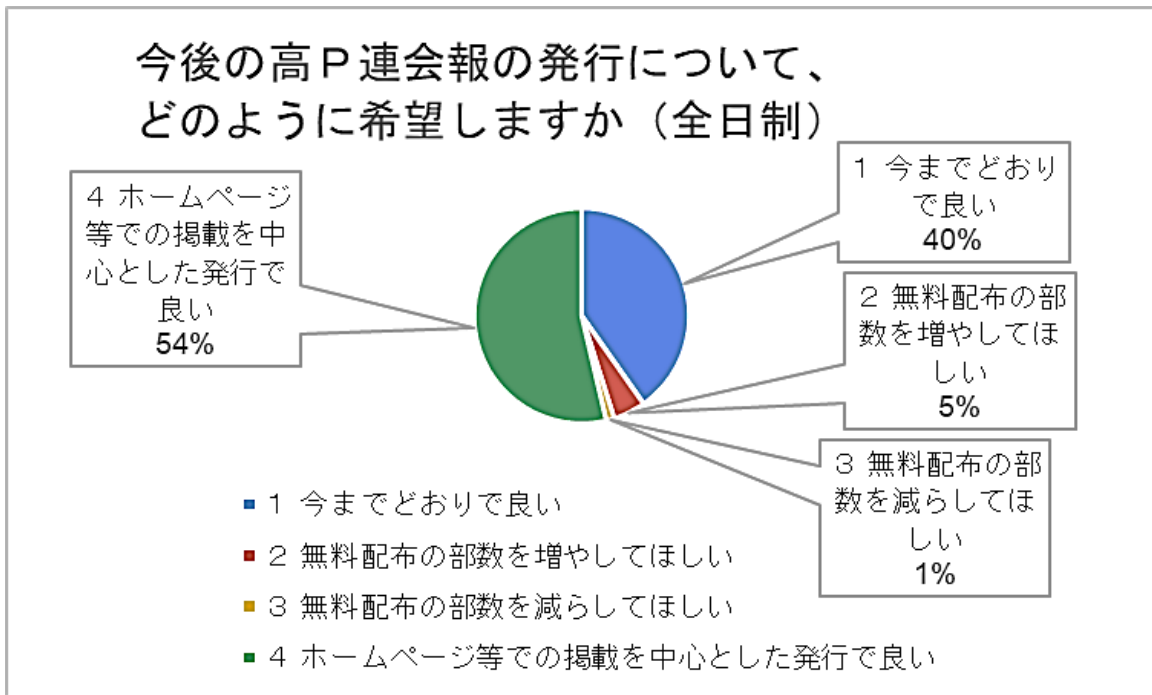
その他 学校で閲覧保管、総務課長と校長のみ、本部役員のみ

【定時制】

- 静岡県立三島長陵高等学校 3 すべての役員に配布している
 静岡県立科学技術高等学校(定時制) 4 一部の役員に配布している
 静岡県立静岡高等学校(定時制) 3 すべての役員に配布している
 静岡県立ふじのくに国際高等学校 3 すべての役員に配布している
 静岡県立浜松大平台高等学校(定時制) 4 一部の役員に配布している
 静岡県立新居高等学校(定時制) 1 すべての会員に配布している
 静岡県立静岡中央高等学校 1 すべての会員に配布している

9 今後の会報発行の形態

【全日制】



【定時制】

| | |
|-------------------|---|
| 1 今までどおりで良い | 5 |
| 2 無料配布の部数を増やしてほしい | 2 |

後述する特別支援学校の調査では「ホームページ等での掲載を中心とした発行で良い」という意見は44%であり、全校種で紙媒体の継続発行を求める意見が約半数である。現在でも、会報は各校への送付に加えホームページにも掲載している。当面、現状の形態で刊行することとする。

10 現在PTAが抱えている問題

【全回答に係る分析】

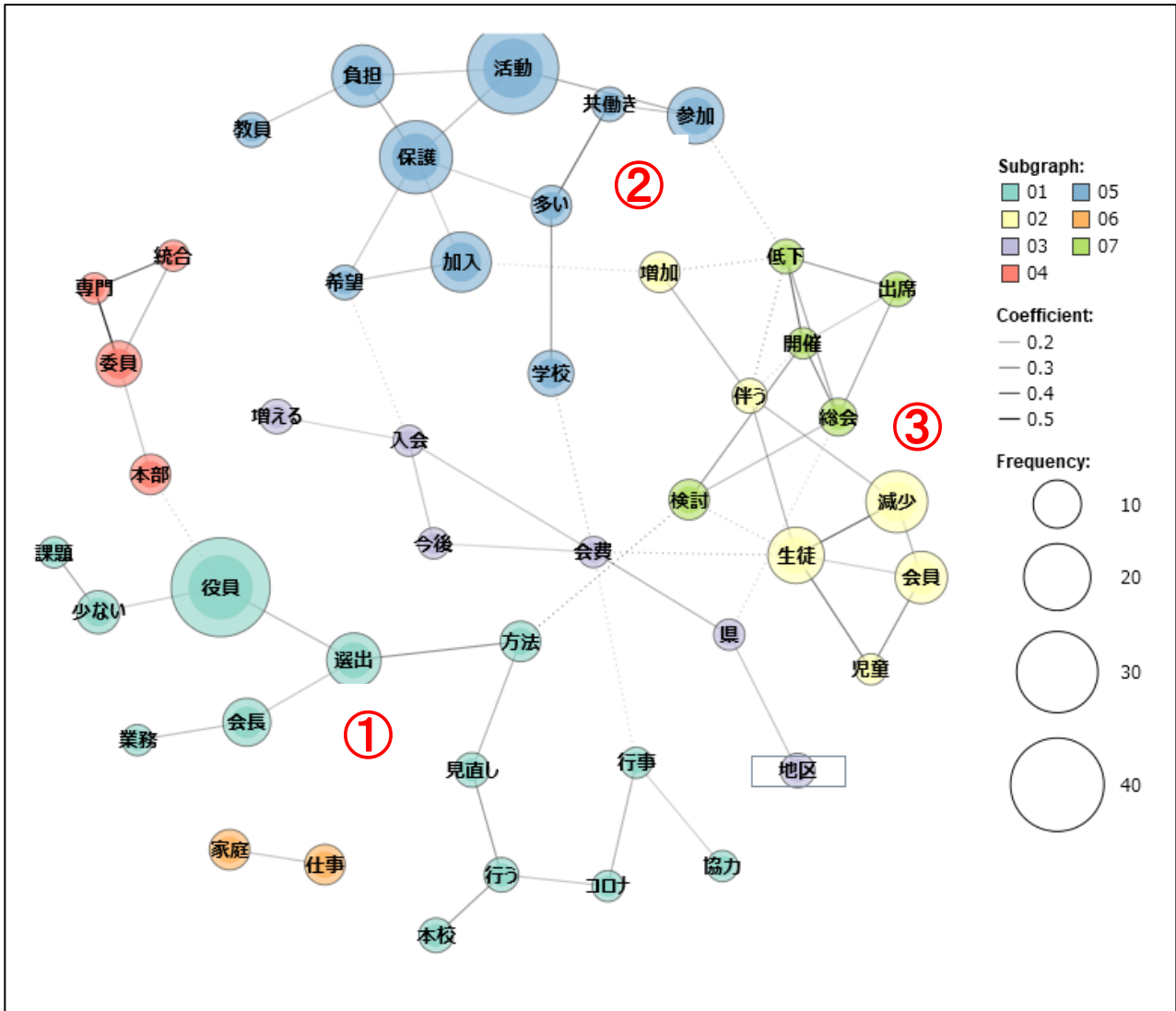
まずは、全校種全回答についてフリーソフト(KH Coder)を使ってテキストマイニングを行った。

◎自由回答の文中に頻出する抽出語ベスト10 ※「PTA」は抽出後の集計から除いている

| 抽出語 | 出現回数 |
|-----|------|
| 役員 | 45 |
| 活動 | 38 |
| 保護 | 24 |
| 減少 | 17 |
| 負担 | 17 |
| 加入 | 16 |
| 難しい | 15 |
| 参加 | 14 |
| 生徒 | 14 |
| 選出 | 13 |

→すべて保護者という単語として使われている

◎共起ネットワーク



図中の単語における○の大きさは、回答文に出現する頻度を表している。また、同時に出現しがちな単語を線で結んだネットワーク図である。また、結びつきが強い語をグループ化し、色分けした。この図を使いながら、どんな課題や問題に直面しているか回答全体の概観として文章化する。

①グループの文脈の分析

役員(特に会長業務の内容により)のなり手が少ない現状があり、その選出方法に見直しの余地があり、すでに見直しや改革を行っている単位PTAもある。また、コロナ禍の困難にあっても役員同士で協力して行事に取り組む活動ぶりが見られた。

②グループの文脈の分析

PTA活動への取組に対して、共働き家庭の増加などを受けて負担を感じる保護者が増えており、参加率が低下しつつある。また、教職員にとってもPTA活動には負担感がある。

③グループの文脈の分析

生徒児童の減少によってPTA会員数が減少しており、総会を開催しても出席率が低下していて、その開催方法にも検討が求められている。

以上を踏まえて、次ページから各単位PTAからの回答について、言及した対象別に分類して、原文のまま掲載する。

【全日制】

(役員関係)

- ・ P T A 専門委員会の委員が不足している。仕事の内容を精選している。
- ・ 役員選出が難しくなっている。
- ・ P T A 会員数の減少により今後の活動、役員の人数をどうするか。
- ・ 地区の P T A 研修会担当校時の負担が大きく、役員を受けていただくことが難しくなる一因となっています。
- ・ 生徒数減少による役員削減。
- ・ 本校では 1 1 地区に分かれているが、入学式の際に新 1 年部の各地区委員長と副委員長を選出しているが、どこの地区も必ずくじ引きで決定している。そうすると家庭の事情(仕事・家事・育児・介護等)もあり、P T A 役員が過度な業務になっている人が現状いる。しかし、その 1 1 名の中から P T A 副会長を 2 名・監事を 1 名・1 年部委員会業務の委員長 1 名と副委員長 1 名を選出しなければならず、そこを決める際にもかなりの労力を要する。また年度内に次期 P T A 会長を決めなければならず、進んでやったださる方もおらず P T A 役員の選出に毎年困っている。保護者の方々の悲痛な声を聞くこちらにも精神的に参ってしまう。
- ・ P T A 役員や地区役員、P T A 会長や地区長などの役職決め。諸事情で役員の継続が難しくなるケースがある。地区による人数のばらつき、P T A 役員の仕事や決め方のルールがわかりづらい。
- ・ 役員の選出方法。
- ・ P T A 理事の決め方について。
- ・ 生徒数(定員数)の減少で、現在の P T A 役員定数を埋めることが困難になり、それに伴い P T A のお仕事の割振りも変更している。
- ・ 会長、副会長の選任について(今年初めて希望者 1 名がいたが、他はあみだくじで決定)。
- ・ P T A の役員決めに苦慮している。現在、入学式後にくじ引きで 3 年間の役員を決めているが、なかなかスムーズにいかない。また、地区別に役員を選出しているが、地区の人数が入学年度により差が大きく、選出方法に苦慮している。
- ・ 本部役員選出が難しい。地区役員は主にくじ引きによる選出だが、本部役員は電話を掛けてお願いしている形であり、毎年本部役員選出に苦労している。
- ・ 生徒数の減少による P T A 役員の選出方法の検討。
- ・ 地区担当の理事の選出方法に問題がある。
- ・ 生徒数減少による役員数の減少が可能か、検討中。
- ・ P T A 役員等のなり手不足。
- ・ 役員の数、会則の改定など。
- ・ 募集定員減(クラス減)による役員や委員の選出方法、地区の見直し。
- ・ 会長の仕事量が多く、引き受け手がないので、分担制を検討している。
- ・ 会長職をはじめ重要な役職を O B O G で継承しているが、難しくなっている。
- ・ 本部役員を希望する保護者が少ないことが課題。(学年委員は立候補またはくじ引き)。
- ・ 共働きが多いので P T A 役員選出が困難と活動への参加率が低い。
- ・ 3 月下旬、新入生保護者から P T A 副会長候補者を選出する業務で、苦戦している。
- ・ P T A 役員のみなり手がいない。
- ・ P T A 役員や理事の受け手が年々減っている。理事をお願いした方でも、仕事やご家庭の都合で活動に参加できない傾向がある。選出方法の見直しを検討している。
- ・ P T A 会長の選出が難しい。
- ・ P T A 役員を引き受けてくださる方が減少している。保護者の負担感が増していること。
- ・ 会長の選出が難航する。理想の候補者の減少。

- ・ P T A加入については、協力を得ることが出来ているが P T A会長・副会長の選出に苦勞をしているのが現状で役員様には多大なご苦勞をかけている。
- ・ 多忙な保護者が多いため、役員選出や活動への協力体制がうまくいくのかが課題。
- ・ 役員決めの方法。
- ・ 評議員（役員）に積極的になる人が少ない。

（加入）

- ・ P T Aに加入希望しない保護者が出てきた。（結果的に加入）特に神奈川や東京から移住してきた保護者に多いです。
- ・ 非加入者の発生の恐れ。
- ・ 保護者が P T Aへの入会に難色を示す。
- ・ P T Aの任意の加入について、今後、非加入者があった場合の対応が課題。
- ・ 入学時、P T Aへの加入を希望しない保護者が数名いること。
- ・ P T Aに加入しない保護者が年々増えていくような気がして心配です。
- ・ 役員になりたくないため、加入をしづる保護者がいる。
- ・ P T A未加入者への対応。
- ・ P T Aへの加入率は現在 100%だが、今後入会を希望しない保護者が増えると予想される。
- ・ P T Aへ加入したくない方が毎年いる。説得して加入していただいている状況。
- ・ 加入へ難を示す保護者が増加してきている。年度頭の担当の交渉業務が大変。
- ・ P T A未加入の家庭がある。P T Aへの理解がない。
- ・ P T Aに加入したくないご家庭が増えていること。

（活動）

- ・ 保護者に過度な負担をかけないように考えている。
- ・ P T Aの研修会などに参加する保護者が年々減少していること。共働きの世帯が増えたこともあり、平日に参加が難しいと意見がある。
- ・ 生徒の減少に伴い、保護者の人数も減っているため、組織的な活動が難しくなっている。
- ・ 共働きの保護者が多く、P T A活動の参加率が上がらないこと。
- ・ 行事等の協力者不足。
- ・ P T A活動すべてにおいて、教員中心で P T A会員が積極的でない。
- ・ 積極的参加者が年々減少傾向にある。
- ・ 役員のみ活動となっており、活動に参加しやすい環境づくりが必要。
- ・ 活動に積極的な父兄があまりいない。
- ・ 保護者が共働きのため、活動を続けていく困難さとそのために教員への負担が増大している。一方で、P T A会費によって学校の行事や補講等、学校の根幹となっている部分も多く支えられているのが現状である。その事業は継続しつつ、保護者・教員への負担を減らしていく必要がある。
- ・ 遠方の保護者が半数を占め、各種活動への参加率が減少している。
- ・ 役員の方々の仕事と P T A活動の両立が難しい。P T A活動は主として平日なので、その度お仕事の都合をつけていただいております。役員によっては、それが難しい方も増えてきている。
- ・ コロナ禍を経て、P T A活動が行われなくても学校は回っていくことに気づいた保護者は多いのではないかと。P T Aの存在意義が問われる中で、保護者の負担感を減らすよう努めているが、一方で本部役員との関係以外はますます希薄になっていくような気がしている。
- ・ 活動に参加できない、都合がつかない P T A役員が増えた（一人親世帯の増加による）。
- ・ クラス減による生徒数減少で P T A会費収入が減少することにより、今後、活動の縮小を検討し

なくてはならない可能性がある。

- ・9月の全体会という名の集まりは必要か。

(PTA総会)

- ・PTA総会出席率の低下により、Cラーニングでの開催を検討している。
- ・PTA総会の参加率の減少。
- ・生徒数減少による地区の再編および役員削減。
- ・今後、PTA総会の運営方法や学年理事の在り方について検討する可能性がある。
- ・PTA総会への出席率がここ数年低迷している。
- ・PTA総会を対面のまま続けるか、オンラインに変更するか。
- ・PTA総会の出席者数を増やしたい。

(会費・予算)

- ・生徒数減による財源確保
- ・生徒数の減少でPTA会費も当然減少し、生徒の活動に対する補助にも影響が出始めている。
- ・PTA総会への出席率がここ数年低迷している。
- ・PTA非加入家庭が生じ、様々な箇所での生徒のみのお金のやり取りの業務が生じている。必要最低限のものについてはPTA会計から学年会計に移すなど見直しをしている。
- ・制度的なものとして、PTAに入会を拒否されたときに、有効な対応方法がないこと。未入会の生徒も、入会して会費を納めている家庭の生徒とほぼ同様のメリットを受けさせざるを得ない現状に苦慮している。

(その他)

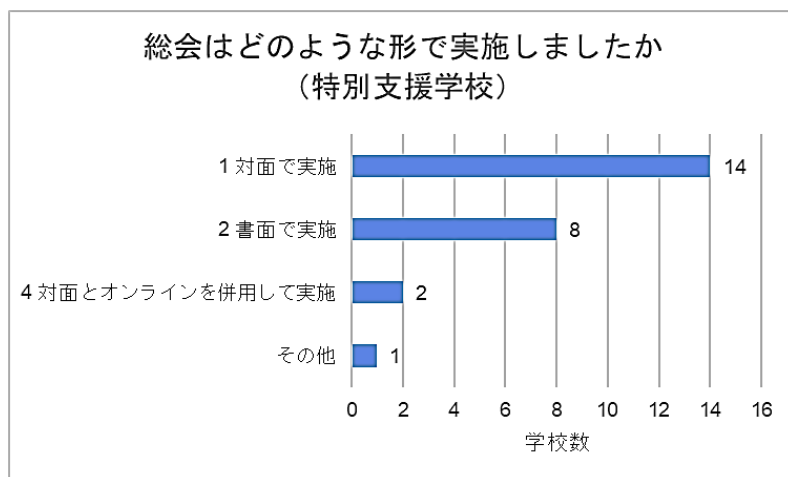
- ・昨今の生徒減を受けて数年前から支部統合再編の検討を続けてきた。今年9月に規約改正を決議し、ようやく来年度より施行できる運びとなった。その矢先、11月に来年度入試での定員減(クラス減)が県教委から発表された。これにともない、来年入学生から会員数が現状の2/3に減少する。4つある専門委員会を廃止・統合、支部長職を廃止など大幅な精査が必要になってしまった。今からもう一度組織再編の検討調整をして規約改正するのは時間がなさすぎる。
- ・生徒数の減少により、今までの地区のブロックを統合せざるを得なくなっている。
- ・地区の再編(人数の不均衡)。
- ・地区による会員数のアンバランス。
- ・コロナ禍により精選された行事を元に戻すか否か。
- ・地区会の存続。
- ・生徒数減少による地区の再編。
- ・本校は活発な活動が行われています。担当する教員の負担が課題です。
- ・保護者の無関心。
- ・静岡地区研修会の輪番制の負担、県総会懇親会の費用負担、東海・全国・県大会の参加を自由化に、PTA会費上納金は最小限にして出来るだけ生徒・学校のために使いたい、県高P連の諸アンケートへの回答が負担。
- ・PTA関係書類を紙でなくメール配信に変えつつある。今後PTAだよりやPTA総会資料もデータ配信にしていく予定。配信に伴い、課題が出てくるかもしれないので課題があれば検討する。
- ・各家庭の経済状況や家族構成、働き方の変化、PTAの意識。
- ・生徒数減少に伴う、PTA地区割の再検討。
- ・学校や教育活動にもっと関心を持ってもらうための工夫。

【定時制】 ※回答を原文のまま記載する。

- ・生徒数の減少に伴う、予算の減少。
- ・P T A 役員の成り手に苦慮している。P T A 役員会や総会の出席率もよくない。
- ・余裕のない家庭が多く、実質的な活動はあまりないにも関わらず、役員の引き受け手を探すのが大変になってきている。
- ・今後P T A 役員とP T A の課題等について話し合いをする予定です。
- ・役員決めのやり方
- ・特にありません
- ・仕事や家庭がある為…役員さんの負担を減らす為、会合の時間や紙面に変更した事で、役員さん達の関わりが減り、絆が弱くなってしまった気がします。

II 特別支援学校 回答数：25 校

1 P T A 総会の実施方法

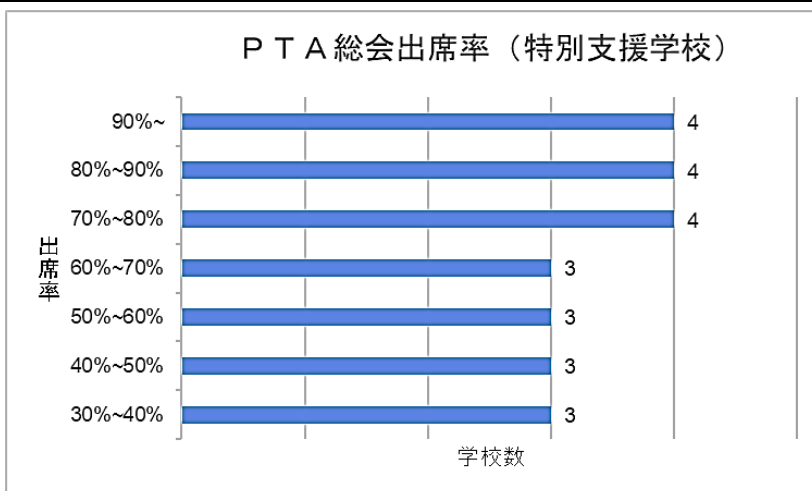


※その他 新旧P T A 役員・新旧学年委員のみ対面、その他は YouTube 配信

総会は、対面が主流であるが、高等学校と異なり書面での開催の割合が高い。オンラインを使用した学校のアプリは Zoom であった。

2 P T A 総会への出席率

令和6年度P T A 総会への会員(保護者)の参加率 平均 68.2%



※書面開催のため不明が1校

令和2年度調査での出席率は65.8%で、やや向上している。高等学校の出席率よりも総じて高く、学校による普段からのきめ細かな指導などで保護者との結びつきがより強いためと考えられる。

3 P T Aの加入状況について

- (16/25、64%) 加入率 100%
- (8/25、32%) 加入率 90%~100%未満
- (1/25、4%) 加入率 78.5%

ほとんどの学校が、ほぼ100%に近いのは高等学校と同様である。加入率がやや低い学校は、医療福祉センターに隣接し、在校生のほとんどがセンターに入所している小規模校である。特別支援学校は児童生徒が少ない学校が多いため、一人一人の保護者の負担が大きくなる傾向があり、未加入の保護者が出た場合は、活動内容や役員選出などに大きな影響があると推測される。

4 P T Aが実施・参加・協力をしている学校行事

- (25/25、100%) 01 式典(入学式、卒業式等)出席
- (02/25、08%) 02 式典(入学式、卒業式等)準備、片付け
- (08/25、32%) 03 文化祭
- (06/25、24%) 04 体育祭
- (02/25、08%) 05 文化的行事(合唱コンクール、百人一首大会など)
- (01/25、04%) 06 体育行事(マラソン大会、球技会など)
- (16/25、64%) 07 環境整備(清掃活動など)
- (01/25、04%) 08 交通安全(街頭指導など)
- (00/25、00%) 09 生活安全(巡回や補導など)
- (03/25、12%) 10 進路指導(面接練習や講演など)
- (03/25、12%) 11 図書指導(貸出や整理など)

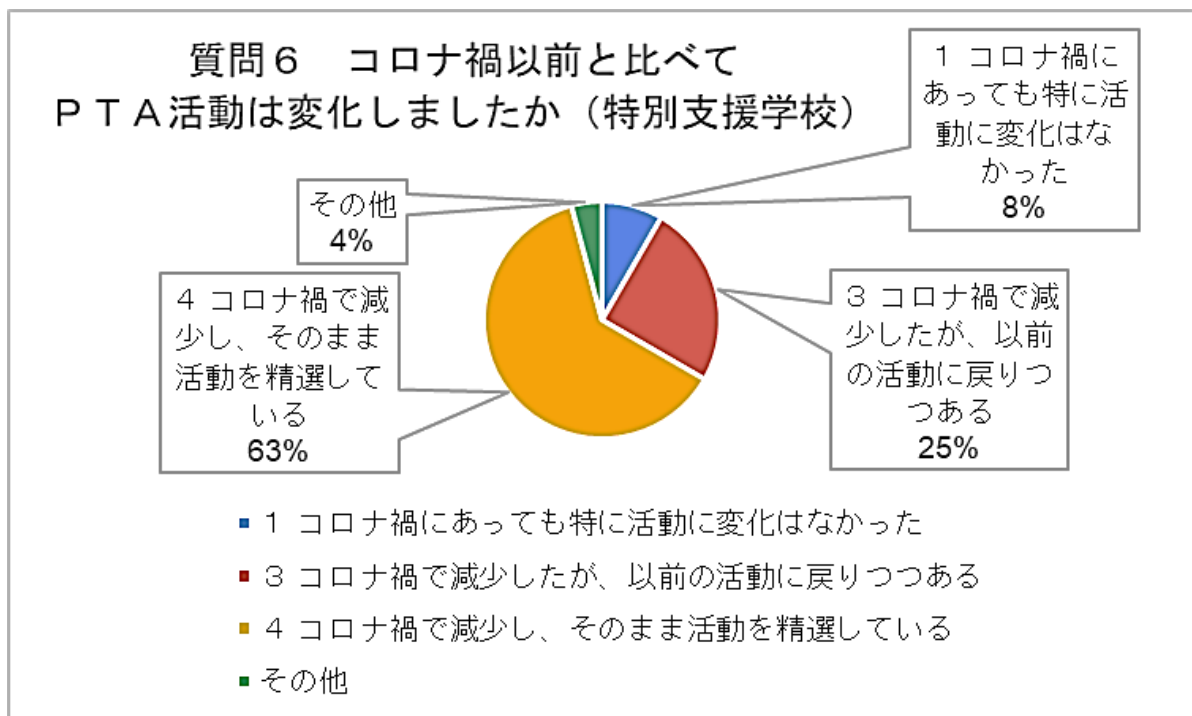
その他 点字ブロック理解推進キャンペーン、座談会、進路講演会、本の読み聞かせ、ベルマーク回収・集計、防災訓練参加、お茶摘み体験、学校祭、進路学習会開催、防災講演会開催、学習活動、授業支援、行事での駐車場案内、簡易プールの片づけ、図書ボランティア(読み聞かせ、図書室の装飾)、花ボランティア

5 特色あるP T A活動 ※半角数字は回答数

| 区 分 | 内 容 |
|---------|---|
| 学習活動・授業 | もくもくマミー(縫製による教材づくり) |
| 文化祭 | 行事の運営協力 |
| 環境整備 | 奉仕作業、校舎内外・グラウンドの清掃 4、除草、花いっぱい運動 |
| 生活安全 | 防災学習会 2、地区会活動 2、防災グッズの展示 |
| 進路指導 | 進路講演会 3、進路学習会 4、進路先等の施設見学会 5 |
| 図書指導 | 図書(書棚)整理・整頓、図書ボランティア、掲示物 |
| 体育的行事 | 学部ごと応援、サッカー部への募金、保護者交流会 マラソンコースの整備、持久走大会 |

| | |
|-------|---|
| 文化的行事 | バザー、ハンドベルコンサート、お茶摘み体験、地区の祭りに参加、PTA秋祭り2、親子遊びフェス（バルーンアーティストによるバルーン体験、エア遊具の設置） |
| 広報紙 | 「PTA通信」の発行（PTAの活動を紹介し活動に参加するメリットを保護者に伝える）、PTA新聞発行、PTA広報誌発行、PTAだより発行 |
| その他 | 点字ブロック理解推進キャンペーン、保護者勉強会（子育て）、他校見学、年2回のPTAだより発行、PTA主催のイベント、地域の福祉イベントにPTAのバザーとして参加、リユース活動（保護者から不要となった制服等を預かり、必要とする保護者へ無償提供）4、保健講演会、座談会（今のPTAの課題を出し合い改善策を考えるなど）3、意味ある学級活動（保護者感の親睦を目的とした活動、座談会など）卒業生保護者を招いての茶話会、街頭キャンペーン、夏祭りの運営（ゲームコーナーの設置）、ベルマーク2、幸せの黄色いレシート、学年懇談会、学校応援隊（草取り、掃除、図書整理など、その都度必要な人数を募集し、応募者に参加してもらっている） |

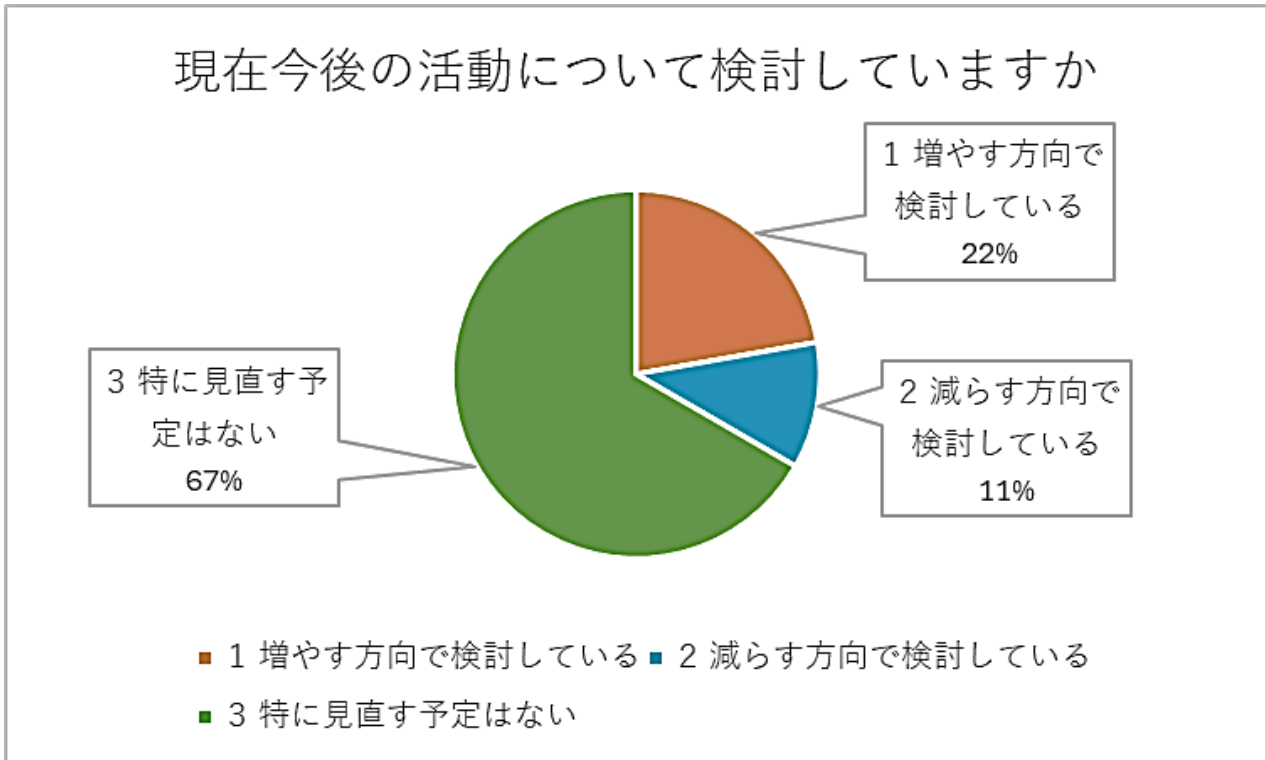
6 コロナ禍でのPTA活動の変化



●具体的に精選した活動 ※半角数字は回答数

夏休みのプール、PTAバザー3、PTA活動、PTA研修会2、PTA奉仕作業日をやめ任意の奉仕作業週間を参観週間にあわせて設定、会議の削減2、総会の書面開催、広報誌の発行回数、PTA活動に係る各担当の打ち合わせ等は原稿作成→確認までオンライン化、親睦会の廃止3、委員会の廃止（委員を35名→15名）、地区役員の廃止、PTA総会の全体集合の中止2、活動の内容廃止（事業所見学、保護者同士の会食など）、学校祭時の喫茶コーナー運営、夏季休業中のイベントや夏祭りを廃止2、ベルマーク収集

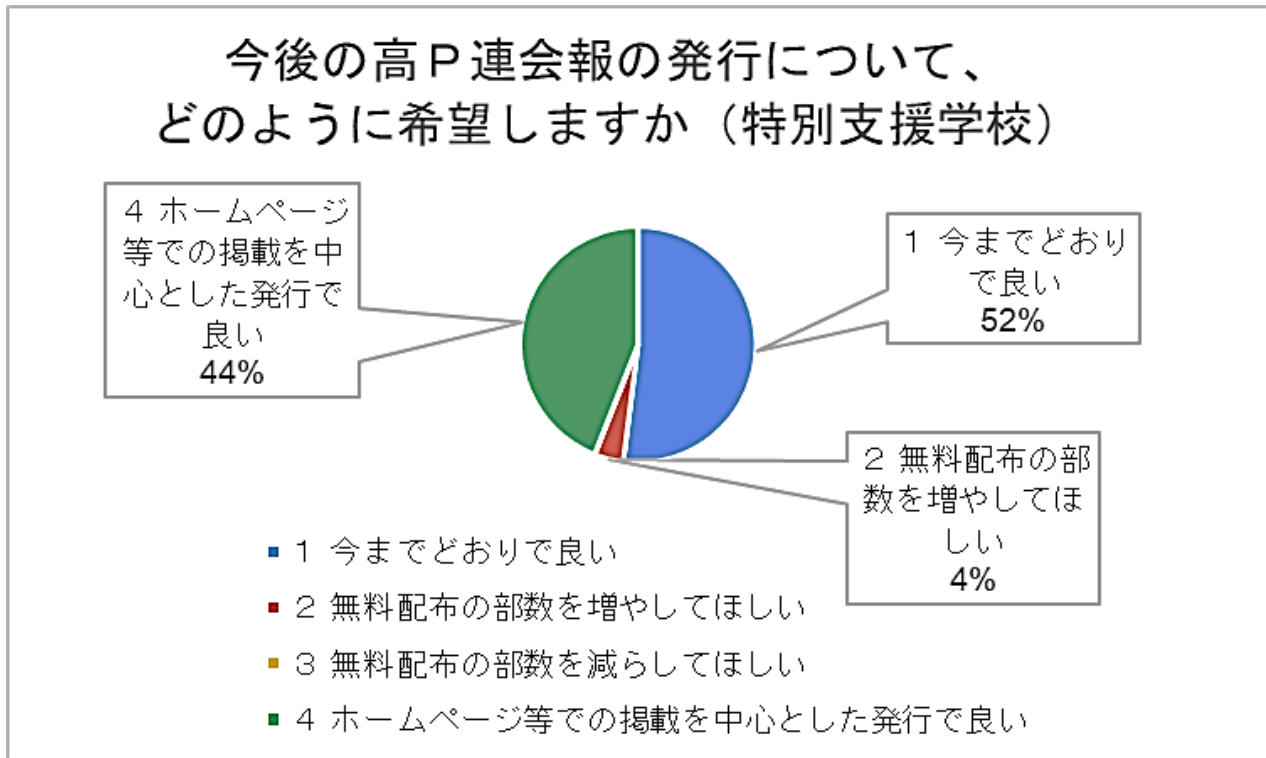
7 今後のPTA活動に係る検討(6で「コロナ禍でも変化なし」の学校のみ)



8 県高P連の会報の活用状況

- (10/25、40%) 1 すべての会員に配布している
- (03/25、12%) 2 一部の会員に配布している
 高等部保護者と高等部職員
 PTA役員全員、管理職、学部主事
 高等部、訪問教育（入学～卒業まで在籍する児童生徒優先）
- (06/25、24%) 3 すべての役員に配布している
- (05/25、20%) 4 一部の役員に配布している
 会長 副会長 部長 庶務 顧問
 PTA本部役員、PTA各委員会の委員長及び副委員長、管理職、PTA相談役となっている教職員
 会長 副会長 校長 副校長
 PTA本部役員（会長、副会長、書記、会計）
 PTA会長 校長
 その他 役員で回覧

9 今後の会報発行の形態



10 現在PTAが抱えている問題

高等学校を含めた全体分析については9ページを参照。特別支援学校からの意見については以下のとおり。各単位PTAからの回答について、言及した対象別に分類して、原文のまま掲載する。

（役員関係）

- ・ 会員が少ないため役員を何度も務めることになるため、役員の負担が少なくなるよう、会員全員で役割を分担している。役員会は参観日に設定し参加しやすいようにするなど工夫している。書類作成や連絡調整等は教頭が担っている。学校提案、主導の活動が多くなっている。
- ・ 在籍者数減少に伴うPTA会員の減少のため、役員選出が難しい。
- ・ 児童生徒の減少から、役員のなり手がいなくなっている。
- ・ 役員に対する業務負担が多いため学年役員の皆さんにも携わっていただきながらより良いPTA活動を目指したいです。
- ・ 分校は会員数が少ないため役員が決まらない。
- ・ 役員以外の保護者の協力（役員選出等）。
- ・ 役員に立候補者が少ないこと。
- ・ 役員数は以前よりも削減しているが、役員を引き受ける保護者が少ない（特に正副会長）。
- ・ 会長にいろいろな業務（各PTA連合会の会合への出席、応援隊呼び掛けなど）が集中している。
- ・ 児童生徒数が少ないため、各学年のPTA理事やPTA執行部の選出に課題がある。

（加入）

- ・ 会員数の減少（児童生徒数の減少） PTAの維持
- ・ 短期間在籍者のPTAの加入の必要性等
- ・ PTA未加入者の増加

(活動)

- ・ 幼児児童生徒数減少に伴う会員数減少、P T A活動運営の難しさ。
- ・ 子どもの数の減少と共働き家庭の増加で、P T A活動が負担に感じている保護者が多い。役員決めも難航し、退会する保護者も出てきた。P T A活動の必要感が薄れ、時代に合わなくなってきている。大規模校なら、外部委託もできるが、小規模な本校では難しい。今後のP T A活動が本当に難しくなっている。
- ・ 分校は学校主体のP T A活動になりがちである。
- ・ 本校は保護者のP T A活動の負担軽減が必要となってきた（例 専門委員会の統合）。
上記により専門委員会の部員の出席率が悪い。
- ・ 活動の負担軽減（無理なく行える内容・回数の招請）
- ・ 仕事がある保護者の増加に伴う出席率の低下、活動の精選
- ・ 任意加入となり、P T Aの活動意義やニーズに応じた活動の精選について、より検討する必要があると感じている。
- ・ P T Aには加入するが、活動への参加数は年々少なくなっている（両親とも仕事がある等の理由から）。
- ・ 主体的なP T A活動、P T A役員会などの参加率が低下している
- ・ P T A活動に対する興味・関心・参加の低下に伴うイベント開催時にかかる教職員負担の増加。
- ・ 特別支援学校の場合、手をつなぐ育成会の会員として積極的に活動している保護者がいる。このように積極的に活動されている方がP T A役員としての活動を同時に行うことが困難である。

(その他)

- ・ P T Aの存在意義を話し合う場がなく、全会員に対して情報と認識の共有が難しいこと。その上で、P T A役員決めがスムーズにいかない場面がある。本校では、2～3年前から行事、活動の見直し、部員の人数の調整等行っている。
- ・ コロナ以降P T A総会等の参加率が低下しており、会員にとって現行の活動についての賛否や新たに求められる活動が見えにくい状況である。本部役員や学年代表委員を通じて広く意見を求めているが、反応は鈍化していると感じる。機会を捉えて他校の状況を聞いてみたい。
- ・ “負担”など、マイナスイメージが強い（活動のボリューム、しがらみも要因）→大人だけの事情でなく、「まず、児童生徒たちのための活動」ということを再度見直し、“楽しむ”ということから考えていこうと声を掛けている（堅い、難しいイメージを崩すことが大事かと）。
- ・ 役員が集まらず、少ない人数でどのように運営していくかが喫緊の課題。活動の見直しを継続して行い、役員の負担を軽減しつつ、効果的な活動ができるように努めている
- ・ 会員、非会員への区別の仕方（児童生徒への記念品等の配布について線引きをする等）。
- ・ P T A会長からの御意見をあげる。
 - ① P T Aのイベント参加者を増やすために保護者への認知をあげ、P T A活動に関心を持ってもらうこと。
 - ② P T A活動の情報を欲しいと思えるようにすること。
 - ③ P T A役員を義務感で行っている人がいるが、役員になって良かったというものにすること。
 - ④ 本校のP T Aは保護者と学校とのつながりをモチベーションにしていた感じがあるが、つながり方についてお互いの思惑やイメージがあり、【子供】が見えてこないところが問題だと感じる。
親同士、教員、それぞれの活動で精一杯になっていることがP T Aの難しさだと思う。

あとがき

P T Aの在り方を巡って、新聞記事等で取り上げられる機会が増えています。中でも、公益社団法人日本P T A全国協議会(日P 注小中学校P T Aの連合会であり、本会が所属する「一般社団法人全国高等学校P T A連合会」とは別組織)の元幹部が、発注工事費を水増し請求した容疑で逮捕され、その経緯で露呈した日Pの運営のずさんさから、内閣府公益認定等委員会から報告請求という指導を受ける異例の事態となり、静岡県P T A連絡協議会(県P連)がこの全国組織から脱退すると表明したことがここ最近報道されました。このような問題事例はさておくとして、少子化の進展、共働き世帯の増加、価値観の多様化など、従来型のP T A活動に疑問を投げかける報道も多々見受けられるようになっていきます。ここで、本会としてお願いしたいことが3点あります。

・P T A会員になるメリットについて

本調査では、多くの学校から加入者数の減少と役員選びに苦勞されているという意見が上がりました。一方で、本年度理事会の場で、各地区理事・監事の皆さま(各校P T A会長の一部)からよく聞かれたのは、始めは敬遠していたが、活動に参画し学校に足を運ぶことで子どもたちと身近に接することができたり、喜ぶ顔が見られたり、学校の事情が理解できたり、やってよかったという意見でした。本会では、6月の総会で前年度単位P T A会長様を表彰していますが、毎年代表者としてあいさつされる方も一緒に同じ感想を述べられます。「時間と場の共有」。子どもや他の会員とつながることが活動の最大のメリットであると思います。

また、本会に加盟している所属校のP T A会員になると、静岡県高等学校安全振興会に加入することができます。このことで、「P T A共済法」に基づき、加入者のみに以下の安心を提供できます。

- ①学校管理下で病気やケガをした時、見舞金を受けられます(詳細は加入案内やしおりを参照)。
- ②相手にケガをさせてしまった、物を壊してしまった時の損害賠償金の補助を得られます(学校外においても24時間対象。近年、条例で制定された自転車保険への義務化にも対応できます)。

・小中学校P T Aと高等学校・特別支援学校P T Aとの活動内容の違い

このことは、全国でも、東海地区でも、会議に参加した多くの都道府県連合会の会長さま(小・中・高特と連続でP T A役員を務めてらっしゃる方も多い)が、自分の経験と照らし合わせて指摘します。小中学校では、多くの学校行事へのサポート、旗振りなど登下校の見守り、清掃・除草など環境美化、廃品回収、ベルマーク収集、保護者講習会の準備や運営、頻繁な広報誌の発行、役員決めに関わる重圧、地域行事への動員など、平日の昼間や夜間に多くの時間が拘束されることがP T A活動への忌避につながっていると指摘されます。実際多くの報道やWEBに取り上げられるのは、こうした小中学校のP T A固有の活動です。一方、高等学校・特別支援学校ではそこまでの協力依頼や時間の拘束はありません(もちろん学校の特性によります)。教育の場では、高校生世代の子どもたちに接する時、「目は離さないが、手は離す」など、成長のために一定の距離を保つことをお勧めすることがありますが、保護者の皆さまにお願いする学校との関わりも、子どもたちの発達段階に応じて変化するものであり、高等学校・特別支援学校P T Aの在り方は小中学校のそれとは異なることも多いことを理解していただければと思います。また、小中学校に比べて生徒の通学範囲が広いことは、地域への密着度が薄れることであり、もちろんこのことは学校の弱点にもなりますが、所属する学校固有の教育課題の解決にP T Aの活動を特化できるという強みにもなります。

・単位PTAの問題と連合会の問題

役員決め、加入率の低下、本部役員・地区役員・支部役員などの役員体制の見直し、行事における協力者の確保、広報誌のあり方、役員が背負う困りごとなどなど…単位PTAには各校それぞれが抱えている課題がたくさんあります。一方で、静岡県公立高等学校PTA連合会にも解決が必要な課題がたくさんあります。本報告書の冒頭「はじめに」にも記載しましたが、連合会の役割とは、「単位PTAの活動情報の集約と支援、スケールメリットを活かした情報提供、学校教育へのコミット」です。本会に納入いただく年会費は、生徒1人につき全日制150円、定時制100円、中等部50円、特別支援学校高等部100円、同幼小中部50円などに加え学校1校あたり8,000円となります。また、全国高P連への負担金は全県で約130万円、東海高P連へは全県で約11万円(いずれも令和5年度実績)です。連合会の固有の役割を踏まえていただき、その活動にご理解いただけるようお願いいたします。

最後になりますが、今回調査で回答いただいた学校は、すべての校種併せて114校です。「質問10 現在PTAが抱えている問題」は回答自由ですが、「特になし」と回答した学校はたったの8校であり、いずれの学校もいろいろな困難や心配事を書き込んでいただき、課題を抱えていることがよく分かりました。今回調査では、まずはコロナ後のPTA活動が抱える問題を列挙し、それを共有することから始めましたが、そこに留まっていたのでは必要なアクションにはつながりません。次回の調査では、どのように課題に対応しているのかりサーチし、各校の取組を全体で共有する、いわば「対策編」の調査をしようと考えました。高等学校と特別支援学校、全日制と定時制、普通科と専門学科と総合学科、学校規模、分校・校舎、都市部や中山間地などの設置場所の違いなど、学校間で大きな差異があり固有の問題があることも事実ですが、学校のために、子どものために、会員や教職員の負担軽減のために、目指すものが共通であれば他校の取組に、問題解決のヒントは含まれていると思います。本会も調査や各種申込等について、できるだけ簡略化し、単位PTAや学校の負担を軽減するよう努めて参りますので、今後とも御協力をお願いいたします。

末尾になりますが、本調査にご協力いただきましたPTA会長をはじめ会員の皆様、学校長や管理職の先生方、PTA担当の教職員の皆様の御協力に深く感謝を申し上げます。

[資料] 単位PTA活動調査 質問事項

校種記入 (全日制高校・定時制高校・特別支援学校)

学校名記入 ()

記載者記入 (職・氏名・メールアドレス)

1 PTA総会の実施状況について(令和6年度)

(1) 実施方法を選んでください

- ・ 対面実施
- ・ 書面実施
- ・ オンラインで実施 (→使用しているアプリ)
- ・ 対面とオンラインで実施 (→使用しているアプリ)
- ・ その他 (→)

(2) PTA総会のオンラインを含む出席率は何%ですか(半角整数のみ記入)

2 PTA加入率は何%ですか(半角整数のみ記入)

3 PTA活動の内容について

(1) PTAが実施、参加、協力をしている学校行事をすべて選んでください。

(保護者個人の参加や部活動の保護者会の活動は除く)

- ・ 式典(入学式、卒業式等)への列席
- ・ 式典(入学式、卒業式等)への列席
- ・ 文化祭
- ・ 体育祭
- ・ 文化的行事(合唱コンクール、百人一首大会など)
- ・ 体育的行事(マラソン大会・球技会など)
- ・ 環境整備(清掃活動など)
- ・ 交通安全(街頭指導など)
- ・ 生活安全(巡回・補導など)
- ・ 進路指導(面接練習・講演など)
- ・ 図書指導(貸出・整理など)
- ・ その他 (→)

(2) 特色あるPTA活動や長く続けている取組を教えてください(自由記述)

4 コロナ以前以後のPTA活動の見直しについて

(1) コロナ禍以前と比べてPTA活動は変化しましたか。以下から選んでください。

- ・ コロナ禍にあっても特に活動に変化はなかった
- ・ コロナ禍にあっても活動を増やしてきた
- ・ コロナ禍で減少したが、以前の活動に戻りつつある
- ・ コロナ禍で減少し、そのまま活動を精選している(→精選した活動)

(2) (1)で変化なしの場合、今後について検討していますか

- ・ 増やす方向で検討している
- ・ 減らす方向で検討している
- ・ 特に見直す予定はない

- 5 県高P連の会報(年2回、紙発行、各校要望数を配布、50部までは無料)について
- (1) 会報の活用状況を教えてください
- ・すべてのPTA会員に配布している。
 - ・一部のPTA会員に配布している (→どのような会員に配布しているか)
 - ・すべてのPTA役員に配布している。
 - ・一部のPTA役員に配布している (→どのような役員に配布しているか)
 - ・その他(具体的に)
- (2) 今後の会報発行について
- ・今までどおりでよい
 - ・無料配布の部数を増やす
 - ・無料配布の部数を減らす
 - ・ホームページ掲載を中心とする
- 6 現在、PTAが抱えている課題や問題について(自由記述)

静岡県公立高等学校PTA連合会

〒420-0853 静岡市葵区追手町3番11号

しずおか焼津信用金庫追手町ビル6階

電話番号 054-255-4678 FAX 番号 054-255-4699

E-mail : post@hs-pta-shizuoka.net

ホームページURL <https://www.hs-pta-shizuoka.net/>